

2023年度

ニチキッズさつき野駅前保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月4日（木）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月15日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」の保育理念を念頭におき、設定保育をする事が出来た。日々の保育の中では全職員連携を図りながら、一人ひとりの子どもの主体性や気持ちに寄り添う事を大切に保育を行う事が出来た。子どもたちも思いっきり自分を出し、どんな遊びをしたいか気持ちを伝え、保育者がそれに応え、学び楽しむ姿があった。
子どもの発達援助	一人ひとりの子どもの生活・月齢や発達・心の変化を見ながら、発達に応じた環境設定することにより、一人ひとり満足するまで遊びを楽しむ姿に繋がった。今後もより配慮しながら、子ども一人ひとりとの関わりを大切にしたい保育を心掛け、質の向上に繋げていきたい。
保護者に対する支援	連絡帳や送迎時のコミュニケーションの中で、保護者の方にその日その日のトピックスやエピソードを伝える事で、成長を感じ親子間での会話に繋がる事を図り、また保護者の声にしっかりと耳を傾ける事を大切にしながら信頼関係を築いてきた。
保育を支える組織的基盤	子どもの些細な事に気付き、職員一人ひとりが日々全職員に情報共有を図り、同じ方向性で保育する事に努める事が出来た。今後も共有したことを日々の保育に反映させる事が出来るようにしていきたい。

総評
自己評価を実施し、課題を見つけて意識して改善できたもの、難しかったものなどがあったが、職員一人ひとりが保育に真剣に向き合ってきた事が感じられた。その中で情報共有のための、まとまった時間を確保するという課題も見えた。次年度に向けては、園内研修や職員会議、15分クラスミーティングやパート職員ミーティング、クラスリーダーミーティング等を充実させていく。また、子どもたちの発達をしっかり捉え、発達に合った援助・環境を用意すべく、全職員で『発達』に対する知識を増やし理解を深めていくようにしたい。保護者に対しては引き続き丁寧に関わり、思いに寄り添い、子どもの成長と一緒に見守りながら信頼関係をより深めていきたい。